

平成21年小野町議会第4回定例会

議事日程（第3号）

平成21年12月16日（水曜日）午後2時開議

- 日程第 1 委員長の審査結果報告（予算審査特別委員会委員長、各部常任委員会委員長）
- 日程第 2 委員長の報告に対する質疑
- 日程第 3 議案第73号 平成21年度小野町一般会計補正予算（第5号）
〔討論、採決。以下日程第8まで同じ〕
- 日程第 4 議案第74号 平成21年度小野町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第 5 議案第75号 平成21年度小野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 日程第 6 議案第76号 平成21年度小野町介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第 7 議案第77号 平成21年度小野町介護保険サービス事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第 8 議案第78号 平成21年度小野町水道事業会計補正予算（第2号）
- 日程第 9 議案第79号 小野町老人憩の家設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
〔討論、採決。〕
- 日程第10 請願・陳情の採択、不採択の決定
- 日程第11 特別委員会委員長の中間報告
（追加）
- 日程第 1 議員提出議案第6号 2010年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書
〔上程、説明、質疑、討論、採決。〕

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（13名）

1番	宇佐見	留男	議員	2番	水野	正廣	議員
3番	国分	喜正	議員	4番	石戸	浩	議員
5番	遠藤	英信	議員	6番	村上	昭正	議員
7番	久野	峻	議員	9番	會田	隆壽	議員
10番	西牧	さかり	議員	11番	橋本	健	議員
12番	吉田	鐵雄	議員	13番	佐藤	登	議員
14番	大和田	昭	議員				

欠席議員（1名）

8番 鈴木 忠幸 議員

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	宍 戸 良 三	副 町 長	伊 藤 直 樹
教 育 長 職 務 代 理 者	吉 田 浩 祥	総 務 課 長	駒 木 根 祐 治
施 設 整 備 室 長			
企 画 商 工 課 長	先 崎 幸 雄	税 務 課 長	宗 像 利 男
町 民 生 活 課 長	渡 辺 慶 一	健 康 福 祉 課 長	藤 井 義 仁
農 林 振 興 課 長 兼 農 業 委 員 会 事 務 局 長	石 井 一 一	地 域 整 備 課 長	佐 藤 喜 春
会 計 管 理 者 兼 出 納 室 長	仲 野 谷 博	教 育 課 副 課 長	遠 藤 靖 次

職務のため出席した者の職氏名

事 務 局 長	村 上 春 吉	書 記	先 崎 実
書 記	熊 谷 真 也	書 記	先 崎 英 典
書 記	新 田 徹		

開議 午後 2時00分

◎開議の宣告

○議長（大和田 昭君） ただいまから、平成21年小野町議会第4回定例会第7日目の会議を開会いたします。

ただいま出席している議員は13名で定足数に達しており、会議は成立いたしました。

なお、8番、鈴木忠幸議員より病気療養のため、先崎福夫代表監査より所用のため、本日の会議を欠席する旨、それぞれ届け出がありますので、報告いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

◎議事日程の報告

○議長（大和田 昭君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎委員長の審査結果報告

○議長（大和田 昭君） 日程第1、予算審査特別委員会及び各部常任委員会より、付託事件の審査結果の報告を求めます。

初めに、予算審査特別委員会の報告を求めます。

予算審査特別委員長、7番、久野峻委員長。

[予算審査特別委員長 久野 峻君登壇]

○予算審査特別委員長（久野 峻君） 予算審査特別委員会における付託案件の審査の結果並びに経過についてご報告を申し上げます。

平成21年小野町議会第4回定例会において予算審査特別委員会に付託された事件は、予算審査特別委員会付託事件表のとおりであり、審査の結果と経過につきましては、お手元に配付の委員長報告のとおりであります。

以上、申し上げます。予算審査特別委員会の報告といたします。よろしく申し上げます。

○議長（大和田 昭君） 次に、総務文教常任委員会の報告を求めます。

総務文教常任委員長、7番 久野峻委員長。

[総務文教常任委員長 久野 峻君登壇]

○総務文教常任委員長（久野 峻君） 平成21年小野町議会第4回定例会において総務文教常任委員会に付託された事件は、各部常任委員会付託事件表のとおりであります。

以下、付託事件の内容と審査経過について申し上げます。

陳情第7号 2010年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める陳情については、全委員異議なく採択す

べきものと決定いたしました。

本陳情は、自治体の財政力や保護者の経済力の違いによって教育水準に格差があってはならないため、福島県内の子供たちに安心・安全な学校生活を保障し、きめ細かい教育の実現のために、学校施設整備費、図書費、就学援助費、奨学金などの教育予算の充実を求めるとともに、少人数学級・少人数指導の充実のため、教職員定数の改善を求めるものであります。

審査に当たっては、担当課長の出席を求め、町立小・中学校の学級編制状況、福島県独自で実施している30人学級、30人程度学級における教育効果などについて意見を求めたものであります。

以上で、平成21年小野町議会第4回定例会において、総務文教常任委員会に付託された事件の審査報告いたします。

○議長（大和田 昭君） 次に、厚生産業建設常任委員会の報告を求めます。

厚生産業建設常任委員会副委員長、4番、石戸浩副委員長。

〔厚生産業建設常任副委員長 石戸 浩君登壇〕

○厚生産業建設常任副委員長（石戸 浩君） 平成21年小野町議会第4回定例会において厚生産業建設常任委員会に付託された事件は、各部常任委員会付託事件表のとおりであり、その審査の結果と経過についてご報告いたします。

議案第79号 小野町老人憩の家設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について。

本案は、利用料の免除規定を整備し、利用時間の延長、利用料の引き上げ及び料金にカラオケ使用料を加え、平成22年4月1日から施行するものであり、カラオケ使用料に関しては平成22年1月1日から適用するものであります。

審査に当たっては、健康福祉課長に出席を求め、議案の内容について詳細な説明を受けたものであります。

利用者の年齢などの確認方法やカラオケの使用料などについて質疑がありましたが、運営に当たっては、利用者の利便性を高めるため善処する旨の説明があり、本案については審査の結果、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上が、本委員会に付託された事件の審査結果と経過であります。

よろしく願いいたします。

◎委員長の報告に対する質疑

○議長（大和田 昭君） 日程第2、質疑を行います。

予算審査特別委員長及び各部常任委員長の報告に対する質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大和田 昭君） 質疑なしと認めます。

これで、予算審査特別委員長及び各部常任委員長の報告に対する質疑を終わります。

◎議案第73号～議案第78号の討論

○議長（大和田 昭君） 日程第3、議案第73号 平成21年度小野町一般会計補正予算（第5号）から日程第8、議案第78号 平成21年度小野町水道事業会計補正予算（第2号）まで、6議案を一括議題といたします。

議案に対する討論を行います。

議案第73号から議案第78号まで6件を一括討論に付します。

討論ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大和田 昭君） 討論なしと認めます。

したがって、議案第73号から議案第78号までの討論を終わります。

◎議案第73号の採決

○議長（大和田 昭君） 議案の採決を行います。

初めに、議案第73号 平成21年度小野町一般会計補正予算（第5号）についてお諮りいたします。本案は原案のとおり決定することに賛成する議員の起立を求めます。

〔起立全員〕

○議長（大和田 昭君） 起立全員であります。

したがって、議案第73号 平成21年度小野町一般会計補正予算（第5号）については、原案のとおり可決されました。

◎議案第74号～議案第78号の採決

○議長（大和田 昭君） 次に、議案第74号 平成21年度小野町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）から議案第78号 小野町水道事業会計補正予算（第2号）まで、5議案についてお諮りいたします。本案はそれぞれ原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大和田 昭君） ご異議なしと認めます。

したがって、議案第74号から議案第78号までの5議案については、それぞれ原案のとおり可決されました。

◎議案第79号の討論

○議長（大和田 昭君） 日程第9、議案第79号 小野町老人憩の家設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

議案に対する討論を行います。

議案第79号を討論に付します。

討論はありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大和田 昭君） 討論なしと認めます。

したがって、議案第79号の討論を終わります。

◎議案第79号の採決

○議長（大和田 昭君） 議案の採決を行います。

議案第79号 小野町老人憩の家設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例についてお諮りいたします。本案は原案のとおり決定することに賛成する議員の起立を求めます。

〔起立多数〕

○議長（大和田 昭君） 起立多数であります。

したがって、議案第79号 小野町老人憩の家設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

◎請願・陳情の採択、不採択の決定

○議長（大和田 昭君） 日程第10、請願・陳情の採択、不採択の決定を行います。

総務文教常任委員長より報告のあった陳情第7号 2010年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書提出を求める陳情については採択とする総務文教常任委員長の報告のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大和田 昭君） ご異議なしと認めます。

したがって、陳情第7号については採択と決定いたしました。

◎特別委員会委員長中間報告

○議長（大和田 昭君） 日程第11、特別委員会に付託中の事件について、会議規則第47条第1項の規定により、この際中間報告を求めたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大和田 昭君） ご異議なしと認めます。

したがって、特別委員会の中間報告を求めることに決定いたしました。

初めに、企業対策特別委員会の報告を求めます。

企業対策特別委員長、6番、村上昭正委員長。

〔企業対策特別委員長 村上昭正君登壇〕

○企業対策特別委員長（村上昭正君） 平成21年小野町議会第4回定例会におきまして、企業対策特別委員会の閉会中の活動について報告申し上げます。

企業誘致の促進とPR活動、企業立地情報調査、さらには小野町に進出している企業の本社を表敬するため、去る11月18、19日の2日間にわたり、大和田議長、宍戸町長に同行をいただき、福島県大阪事務所、近畿企業立地センター、日本クリーンシステム株式会社、さらには大阪商工会議所から紹介をいただきました大阪起業家ミュージアム等を訪問し、企業誘致等の要望活動を実施したものであります。さらに12月7日に委員会を開催し、企業の動向について報告を受けたものであります。

福島県大阪事務所におきましては、関西圏の企業の動向や企業の傾向等々について説明を受け、意見の交換を行ったものであります。大阪事務所における活動は、福島県と関西地方との連絡調整、福島空港路線の宣伝、広域交流の推進、企業の誘致等々多岐にわたり、2府24県を6名のスタッフで取り組まれており、特に、企業誘致活動は企業訪問を中心にトップセールスを行い、工夫を凝らし実施されております。しかし、まだまだ福島県の認知度が低く、PR活動もままならない状況であるとのことであり、企業訪問の心得などの一端も説明を受けたものであります。大阪事務所へ議会や行政のトップが訪問すること自体が少なく、今後の企業の動向情報なども、今回の訪問により小野町の意欲が認知され、今後の企業動向等の情報提供等について優位に推移されるものと思料されるところであります。

近畿企業立地センターにおいては、企業を立地するための具体的な方策や近畿地方の企業の対処方法について説明があり、さらに近畿地方の経済状況や雇用環境、企業立地促進法などの活用方法等について意見交換をし、鶴庭工業用地についても十分PRを行ったものであります。

日本クリーンシステム株式会社への訪問は、小野町に進出している工場への御礼を兼ね表敬を行ったものであり、議員各位ご高承のとおり、日本クリーンシステム社は、大型ごみ収納機器の国内シェア8割を占める世界に誇れる優良メーカー企業であります。環境問題、二酸化炭素削減が叫ばれている現在、さらなる飛躍が期待されるところであります。懇談には山野社長以下幹部の方と御礼と意見交換を行い、企業間交流や加盟経済団体等を通し、鶴庭工業用地のPRをあわせてお願いいたしましたものであります。

大阪起業家ミュージアム訪問は、大阪商工会議所の紹介により訪問し、人材育成担当課長から説明をいただき、大阪や関西圏の商業の一端を知る上で大変貴重な施設であること、多くの大企業の生い立ちがわかる施設であること、今をときめく日本の大企業がベンチャー的出発をされている状況がわかる施設であることなど、

大阪人や関西人の気質をうかがうことができ、昔から商業の町として自由な活動を通じた起業を行えた地として、ベンチャーから大企業へと変遷しており、とても有意義な研修となったものであります。

12月7日の委員会では、念願でありました雁股田、緑の工業団地に協同飼料株式会社が研究部門の移転を決定した旨、報告を受けたものであります。緑の工業団地は協同飼料社が平成5年に取得済みであり、来年7月工事着工、23年4月より操業を開始されるとのことであり、研究者の小野町への転入、地元雇用など今後の推移に期待を申し上げるものであります。

さらに、関東エラストマー社が日本科学技術連盟から組織にふさわしいトータル、クオリティ、マネジメントを実践し、厳しい国際競争に勝ち抜くすぐれた企業を輩出することを目的とされるTQM奨励賞を受賞した報告を受けたものであり、本席より改めてお祝いを申し上げるものであります。

以上が、当委員会の報告であります。当委員会としては住民福祉向上のため、雇用の場の創設については強い意思で臨むものであり、引き続き閉会中においても、当特別委員会の所管事項調査については、継続審査といたし、随時調査及び活動いたすものと決したことを申し添え、報告といたします。

○議長（大和田 昭君） 続いて、地域医療調査特別委員会の報告を求めます。

地域医療調査特別委員長、5番、遠藤英信委員長。

〔地域医療調査特別委員長 遠藤英信君登壇〕

○地域医療調査特別委員長（遠藤英信君） 平成21年小野町議会第4回定例会におきまして、地域医療調査特別委員会の閉会中の活動について報告いたします。

去る10月16日、伊達郡国見町にあります公立藤田総合病院を訪問し、行政調査を行いました。

人口及び予算等が当町と同規模の国見町にあって、同病院がどのように地域社会との連携を図りながら運営しているのか、また、全国的な医師不足への対応策など、今後の小野町地方総合病院を初めとする地域医療体制の充実を進めていく上で参考とすべき点が多く見られると推察されたため、行政調査を実施したものであります。

調査は、公立藤田総合病院において、病院事務担当者並びに国見町役場から財政担当課長である総務課長にご出席をいただき、医師不足対策、民間医療との連携、夜間・休日診療等について実施いたしました。

第1に、医師不足対策についてですが、同病院では100%県立医大に依存しているため、医師の確保は非常に難しい状況であるとこのことでした。打開策としては、病院で受け入れている初期、後期各1名の研修医を残していく方策を検討しており、同病院では、研修医の給与基準を超える給与に加え、各種手当を充実させているとのことでした。

第2に、民間医療との連携についてですが、同病院は、院内の器材や施設を地域の開業医が登録して活用する開放型病院として、病院と診療所間との連携と機能分担の推進を図り、地域住民に充実した医療の提供を行っております。本年3月末現在では、伊達医師会から48名、福島市医師会から53名、歯科医師会から37名、合計138名がこのシステムに登録し、前年度実績では204件の共同指導や37件の共同手術を行った経過があります。

第3に、夜間・休日診療についてですが、同病院では、本年5月の大型連休から地域の開業医の応援を得て、休診日の救急診療体制を確保する新たな手法を導入しました。具体的には、5月3日から6日までの4日間、同病院の小児科医師2人に加えて、伊達市の小児科医師2人がカバーし、もともと医師不足が顕著な小児科の

救急診療に対応したものです。こちらは、年末年始にも同様に対応する予定とのことで、この体制は地域からの要望ではなく、主に医師、特に開業医との話し合いから実施の方向へ進んだものであるとのことでした。

最後に、同病院のPR方法についてですが、毎月2回「元気セミナー」と題して院内セミナーを開催しており、そのうち1回は必ず院長も参加し、PRを図っているとのことです。また、地域開業医との懇談については、毎年6月に開放型病院システムに登録している医師を対象にした登録医総会を開催し、意見交換等を行っているとのことでした。

地域社会あるいは民間医療との連携を図りながら、地域の人々の医療・保健・福祉の向上に努める同病院の基本姿勢は、当町の公立小野町地方総合病院を中心とした地域医療の発展にも大いに参考となるものでありました。

以上が、行政調査の結果であります。

なお、引き続き閉会中においても、当特別委員会の所管事項調査については、継続審査をいたすものと決したことを申し添え、報告といたします。

○議長（大和田 昭君） 次に、教育環境対策特別委員会の報告を求めます。

教育環境対策特別委員長、9番、會田鈿壽委員長。

〔教育環境対策特別委員長 會田鈿壽君登壇〕

○教育環境対策特別委員長（會田鈿壽君） 平成21年小野町議会第4回定例会におきまして、教育環境対策特別委員会の閉会中の活動について報告いたします。

去る10月6日及び12月7日に当委員会を開催、また、10月6日の委員会後には、中学校の改築事業や小学校の耐震事業、さらに小・中学校連携事業を実施している福島市を訪問し、行政調査を行いました。

まず、10月6日の委員会では、教育課長及び施設整備室長の出席により、小学校施設の耐震2次診断結果及び小野中学校改築整備事業の進捗状況等について説明を求めたものであります。

昨年度から引き続き実施された小学校施設の耐震2次診断の結果についてであります。4小学校5施設において、耐震指標値であるIs値が0.7未満であり、補強を要すると診断されたことから、国の補正予算を活用した耐震補強工事を実施したいとのことでありました。

当委員会より、学校施設の状況を十分に確認し、補強以外の改修についても検討するよう要望いたしました。

小野中学校改築整備事業については、敷地造成工事の進捗状況、改築校舎や給食センターの実施設計概要について説明を受けたものであります。

当委員会より、給食について地産地消が図られるよう、十分に検討して取り組むよう要望いたしました。

委員会後に行った行政調査についてであります。訪問先である福島市の福島市立福島第三中学校は生徒数約600人で、築45年を経過した学校であり、小野中学校校舎建設計画と同様に、解体と建設を繰り返す建設計画で改築された学校であります。新校舎に隣接した多目的ホールや屋内運動場の建設工事が実施されており、工事期間中の校舎の状態等についても視察することができました。

小・中学校連携についてであります。福島市では、小・中学校の連携にあわせ、家庭や地域への啓発活動や各中学校区の特徴ある取り組みとして小・中学校連携推進事業を行っているとのことでありました。事業の成果としましては、不登校生徒数の減少や、基礎学力レベルの維持・向上が図られているとのことでありました。

次に、12月7日の委員会におきましては、施設整備室長の出席により、施設整備の進捗状況等について説明を求めたものであります。

小学校耐震補強や太陽光発電整備事業関係についてであります。現在、実施設計業務を行っており、耐震補強工事及び太陽光発電設備設置工事については、実施設計業務完了後、早急に発注する計画であるとのことであります。

小野中学校改築整備事業関係についてであります。校舎とあわせて改築を計画している屋内運動場の実施設計概要について説明を受けました。

委員会より、町有林の活用方法や屋内運動場の施設構造、さらに、今後予定している小野中学校改築や小学校施設耐震補強に係る工事の入札方法等について、十分に検討を行い実施するよう要望いたしました。

以上が、審査の状況であります。引き続き閉会中においても、当特別委員会の所管事項調査については、継続審査いたすものと決したことを申し添え、報告いたします。

◎特別委員会委員長の中間報告に対する質疑

○議長（大和田 昭君） 特別委員長の中間報告に対する質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大和田 昭君） 質疑なしと認めます。

したがって、委員長報告に対する質疑を終わります。

暫時休議いたします。

追加日程資料を配付いたします。

休憩 午後 2時32分

再開 午後 2時33分

○議長（大和田 昭君） 再開いたします。休憩前に引き続き会議を開きます。

◎議員提出議案第6号の上程、説明

○議長（大和田 昭君） 追加日程第1、議員提出議案第6号 2010年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書を議題といたします。

本案は、議案の朗読を省略し、提出者から提案理由の説明を求めます。

議員提出議案第6号 2010年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書について、1番、宇佐見留男議員の説明を求めます。

1番、宇佐見留男議員。

〔1番 宇佐見留男君当壇〕

○1番（宇佐見留男君） 議員提出議案第6号 2010年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書。

小野町議会会議規則第14条の規定により、下記のとおり提出いたします。

平成21年12月16日提出。

提出者、宇佐見留男、賛成者、遠藤英信議員、同じく西牧燾議員、同じく橋本健議員、同じく大和田昭議員、同じく国分喜正議員、同じく久野峻議員の各議員であります。

提案理由。

国や地方の厳しい財政状況から、日本の子どもに関する公的支出は、先進国最低レベルとなっており、また、国内においても地域により格差が生じてきている。教育は未来への先行投資であり、子どもたちには等しく良質な教育を受けられる機会均等が保障されなければならない。

よって、国においては、安心・安全な学校生活と教育の機会均等を保障し、きめの細かい教育の実現のために、2010年度教育予算の充実と教職員定数の改善が図られるよう、地方自治法第99条の規定により、文部科学大臣、総務大臣及び財務大臣に意見書を提出する。

平成21年12月16日、福島県田村郡小野町議会。

提出先、文部科学大臣様、同じく総務大臣様、同じく財務大臣様。

以上であります。

議員各位のご賛同をよろしくお願いを申し上げます。

◎議員提出議案第6号の質疑

○議長（大和田 昭君） 議案に対する質疑を行います。

議員提出議案第6号 2010年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書について質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大和田 昭君） 質疑なしと認めます。

したがって、質疑を終わります。

◎議員提出議案第6号の討論

○議長（大和田 昭君） 続いて、討論を行います。

議員提出議案第6号を討論に付します。

討論ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大和田 昭君） 討論なしと認めます。

したがって、討論を終わります。

◎議員提出議案第6号の採決

○議長（大和田 昭君） 次に、議案の採決を行います。

議員提出議案第6号 2010年度教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書についてお諮りいたします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大和田 昭君） ご異議なしと認めます。

したがって、議員提出議案第6号については、原案のとおり可決されました。

◎閉議の宣告

○議長（大和田 昭君） これで、本定例会に付議された事件はすべて終了いたしました。

◎議長あいさつ

○議長（大和田 昭君） それでは、一言ごあいさつ申し上げます。

本定例会の閉会に当たりまして、ごあいさつ申し上げます。

さて、本定例議会は7日間の会期日程により、ただいまをもちまして議案はすべて議了いたしました。各議員のご精励に対しまして改めて感謝を申し上げます。

我々の任期も半ばを過ぎようとしておりますが、この間、議員各位におかれましては、それぞれの立場で議員活動にご尽力を賜りました。また、議会運営につきましても、ご協力とご理解をいただき、改めて感謝を申し上げます。

明22年が、干支寅のごとく勢いのある年になること、そして、町民の皆様方にとりまして、幸多き年になることを祈念いたしますとともに、ご参会皆様におかれましても、ご身体ご自愛の上、新しい年を迎えられますことをご祈念申し上げます、本定例会の閉会のあいさつとさせていただきます。

大変ご苦勞さまでございました。

◎町長あいさつ

○議長（大和田 昭君） この際、町長から発言があれば、これを許します。

宍戸町長。

[町長 宍戸良三君登壇]

○町長（宍戸良三君） 平成21年小野町議会第4回定例会の閉会に当たりまして、一言御礼とごあいさつを申し上げます。

今定例議会には、一般会計補正予算案件1件、特別会計補正予算案件5件、条例の一部改正案件1件、一部事務組合解散に係る案件3件、一部事務組合同約変更案件1件、人事案件1件、計12案件をご提案申し上げたところでありますが、議員の皆様には慎重ご審議の上、それぞれご議決を賜り、ありがとうございました。議会のご精励に対し改めて感謝と敬意を申し上げます。

議会中の多岐にわたるご質問や審議の過程でいただいた議員皆様のご指導、ご意見に対しまして、趣旨を十分に踏まえ、今後とも適正な事務事業の執行に努め、町民の負託にこたえてまいり所存であります。

議会におかれましては、皆様全員がご健勝で新年を迎えられ、さらにご活躍されますことをご祈念申し上げます。簡単ではありますが、閉会に当たっての御礼のあいさつといたします。

ありがとうございました。

◎閉会の宣告

○議長（大和田 昭君） これをもって、平成21年小野町議会第4回定例会を閉会いたします。

閉会 午後 2時42分